

# 「青森市財政プラン（2024～2028）」の概要

○「青森市総合計画前期基本計画」を着実に推進し、持続可能な財政運営を行っていくための指針として策定。

## （1）本市の財政状況

- ◇ 国・県及び本市の経済対策による税収の確保や、除排雪経費等に係る特別交付税の確保などによって、基金残高や市債残高は、旧プラン（2019～2023）の見込みよりも改善。
- ◇ 一方で、社会保障費の増加や老朽化した公共施設の改修等の経費に加え、国民スポーツ大会開催や斎場建替え、情報システム標準化など多額の財政需要が見込まれる。また、全国の類似団体と比較しても、財政状況は楽観視できる状況ではなく、引き続き財政規律を堅持する必要がある。

## （2）財政目標の設定

- ◇ 本市の財政状況を踏まえて、財政運営を安定的に行うための目標を設定。

**財政目標①** 令和10年度末における財源調整のための基金残高70億円の確保

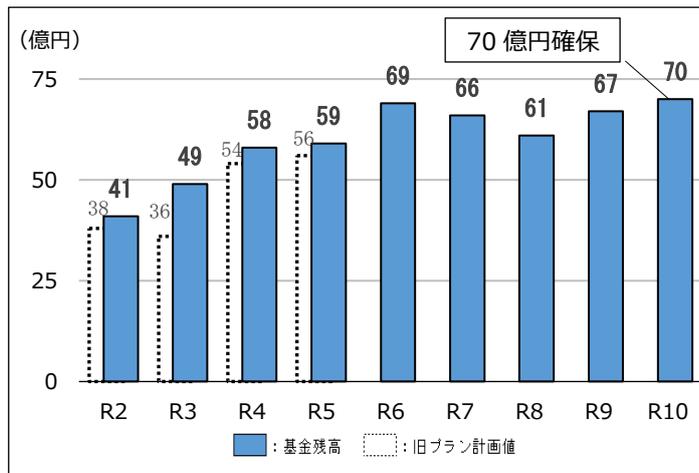
**財政目標②** 市債発行額の抑制による市債残高の縮減

## （3）財政の健全性確保対策

- ◇ 予算要求枠へのシーリングの設定（管理経費及び一部の政策的経費はゼロシーリング）
- ◇ 真に必要な事業の厳選と事業費の平準化、市債発行額の抑制によるプライマリーバランスの黒字維持

## （4）中期財政計画

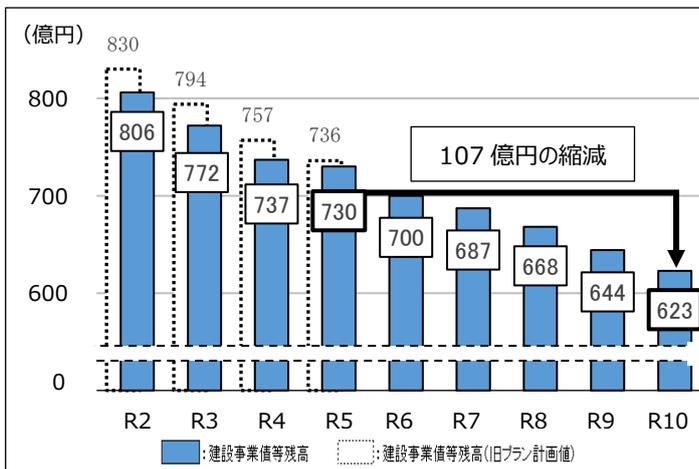
【グラフ①】財源調整のための基金残高の推移



### 財源調整のための基金残高

- ◇ 除排雪経費等に係る特別交付税の確保などにより、旧プランの年度毎の基金残高を上回っている。
- ◇ 一方で、洋上風力発電関連企業の集積などにより、経済の好循環などが見込まれるものの、今後も社会保障費の増加や公共施設の更新需要の増加など、引き続き多くの財政需要が見込まれる。
- ◇ 毎年度の予算編成のための一定額の確保に加え、今後見込まれる統合新病院の整備等や災害の発生などの不測の事態に備え、令和10年度末に財源調整のための基金を70億円確保する。

【グラフ②】市債残高の推移（※臨時財政対策債を除く）



### 市債発行額の抑制による市債残高の縮減

- ◇ 普通建設事業の厳選や平準化などの取組により、旧プランにおける年度毎の市債残高より縮減している。
- ◇ 一方で、本市の財政規模に対する市債残高が全国の類似団体と比較して多い状況となっている。
- ◇ 新たに市債を借り入れる場合には既存の市債の償還額も考慮して、市債発行額をコントロールしながら、着実に市債残高の縮減を図る。